

謹賀新年



今月の主な内容

- 新年のご挨拶
- SDGsを考える
- 民生委員児童委員

今月の表紙

サロマ湖の日の出とハクチョウ
皆さまにとって飛躍の年になりますように

新年を迎えて

湧別町長

刈田 智之



新年明けましておめでとうござい
ます。

2023年の新春を、清々しくお
迎えのことと心からお慶び申し上げ
ます。

新型コロナウイルス感染症のまん
延から3年が経過いたしました、
新たな変異株の出現など、感染拡大
が続いております。ここに、新型コ
ロナウイルス感染症によりお亡くな
りになられた皆さまに謹んでお悔や
み申し上げますとともに、罹患され
た皆さまへのお見舞いと一日も早い
ご回復をお祈り申し上げます。

昨年の社会情勢を振り返りますと、
北朝鮮から頻繁に発射される弾道ミ

サイルやロシアによるウクライナへ
の軍事侵攻など、我が国をはじめ国
際社会の平和と安全が脅かされ、ま
た、国内においては参議院議員通常
選挙を目前に控えた7月8日、選挙
演説中でありました安倍晋三元首相
が凶弾に倒れた事件は、社会を震撼
させるとともに政治と旧統一教会と
の関係性が問題視されるなど、20
22年は暗いニュースが多い一年で
ありました。

そのような中、ロサンゼルス・エ
ンジエルスの大谷翔平選手は日本人
史上最速のメジャー通算100号
ホームランを達成し、また、昨年11
月から12月にかけて開催されました
サッカーFIFAワールドカップで
は、日本代表が強豪国であるドイツ
とスペインを相手に劇的勝利を飾っ
た「ドーハの歓喜」を起こすなど、
日本に興奮と歓喜をもたらし、世界
に大きな存在感を放ちました。

地方自治体を取り巻く環境は、人
口減少や少子高齢化といった時代背
景に加え、新型コロナウイルス感染
症やウクライナ問題など、複雑化・
多様化しており、食料品や燃料費の
高騰は私たちの家計にも大きな打撃
を与えていることから、本町におい
ても子育て世帯や高齢者世帯等の皆
さまに給付金や商品券を交付してい
るところであります。

また、本町の基幹産業であります
酪農業につきましても、コロナ禍で
の牛乳の需要低迷が続く、配合飼料
等の高騰により経営悪化が懸念され
ており、行政による経営支援ととも
に、町民の皆さまには牛乳・乳製品
等の積極的な消費により、生産者の
皆さまを応援していただけると幸い
でございます。

一方、コロナ対策におきましては、
飲食やイベント等に対する行動制限
の緩和や海外旅行者の入国制限の緩
和、全国旅行支援の実施などにより、
冷え込んでいた社会活動が動き出し、
コロナ禍前の活気をようやく取り戻
しつつありますが、これからも地域
の課題や現状把握に努め、感染予防
対策と地域経済再生の両立に向けた
各種施策を展開してまいります。
皆さまにおかれましては、マスク
の着用や手指の消毒など、これまで
同様に基本的なコロナ感染対策をお
願いするとともに、ワクチン接種の
ご検討をお願いいたします。

結びに、ポストコロナの新時代が
一日も早く到来することを願います
とともに、新しい年が皆さまにとっ
て、夢と希望に満ちあふれた笑顔輝
く一年となりますことを心からお祈
り申し上げます。新年のご挨拶とさせ
ていただきます。



湧別町

町長 刈田 智之

副町長 因 洋史

湧別町教育委員会

教育長 阿部 勉

湧別町農業委員会

会長 吉村 智之

湧別町選挙管理委員会

委員長 森 谷 重俊

湧別町監査委員

代表 水野 豊

湧別町消防団

団長 伊藤 務

迎春

新年のご挨拶

湧別町議会議長

村田 一志



新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。日頃より、議会運営に対して多くのご支援とご協力をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。次第でございます。

新年を迎え、議会としての責任の重さを改めて感じるとともに、本町のさらなる発展のために引き続き努力してまいりたいと決意を新たにいたしましたところであります。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染拡大防止のためいろいろな面においての自粛や経済活動の縮小などが求められてきましたが、徐々に解除され、経済活動が再開されるやいなや第8波の到来や季節性イン

フルエンザの流行と医療現場が逼迫する恐れなどいまだ懸念されているところであります。

また、2月24日にロシア軍がウクライナへの侵攻を開始してからいまだに先行きが見えない状況にあり、本議会においても「ロシアのウクライナ侵攻に抗議する決議」を議決したところであります。

道内においては、4月に知床半島沖にて、観光船KAZU Iが沈没し、尊い多くの命が失われたところであり、国内においては、7月に安倍晋三元首相が選挙応援演説中に銃撃され死亡するなどさまざまな出来事がありました。

一方、明るい話題としては、北京冬季オリンピックでの日本選手団の活躍であり、メダル数は金メダル3個を含む過去最多の18個を記録したところであります。特に女子カーリングは、惜しくも決勝で敗れはしましたが、彼女たちの明るい笑顔が目立った大会でもありました。

また、プロ野球界では、ロッテの佐々木朗希投手が28年ぶりの完全試合を達成するなど一躍注目を浴びたところでありますが、やはり一番は大谷翔平選手ではないでしょうか。前人未到の打撃・投手の両部門で規定打席・規定投球回数に達し、MVP受賞とはならなかったものの、素晴らしい活躍でありました。

今年、日本ハムファイターズの新球場であります「エスコンフィールド北海道」で開幕を迎えることとなり、ビッグボス改め新庄剛志監督

のもと私たち北海道民のみならず、日本の多くの皆さまがこの新球場に胸を膨らませていただいているのではないのでしょうか。

議会活動においては、町民と議会の意見交換会を3年ぶりに開催させていただきました。今回はテーマを設定せず、参加者からは、公共施設の再配置や防災関係など数々のご意見やご提案をいただいたところであります。これらお寄せいただいた皆さまからの貴重な声を真摯に受け止め、今後の議会活動に反映してまいりたいと考えております。本年も開催に向けてより多くの方々にお集まりいただけますよう、内容の工夫を検討してまいりますのでよろしくお願いたします。

子どもからお年寄りまで安心して暮らすことができる環境の整備、地域を支える産業の振興や人材の育成・確保など本町が抱える課題の解決に向け各施策の取り組みを推進し、住み続けたいと思えるようなまちづくりに向けて、二元代表制のもと行政と議会が車の両輪となり、これまでに以上効率的な行政運営に努め、有効な施策の展開を進めるとともに、皆さまの負託に応えるためにも議員一丸となってより一層努力してまいります。

結びに、本年が皆さまにとって、実り多き年でありませう、ますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

謹んで新春のお慶びを申し上げます



湧別町議会

議長 村田 一志

副議長 山本 栄子

総務厚生常任委員会委員長 高田 映二

産業文教常任委員会委員長 小形 秀和

議会運営委員会委員長 脇坂 敏夫

議員

関野 一良
加藤 彦弘
村川 勝彦
下田 英人
酒井 純一
檜山 洋一



ゆうべつSDGsを考える

湧別・北海道・日本・地球を次世代へ

より良い未来を築くために、
私たちができることについて考えてみませんか。

SDGsとは

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための計画」に記載された2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成され、それぞれの目標を達成することで、すべての人が暮らしやすい環境が実現するとされています。

湧別町とSDGsとは

湧別町は、オホーツク海とサロマ湖に面している利点を生かした「つくり育てる」漁業、かんがい排水による玉ねぎなどの畑作とオホーツク管内で一番の飼育頭数を誇る乳牛による農業、町面積の55%を占める森林を有し「切って・植えて・育てて・また切る」林業など、一次産業の資源に恵まれた町です。

また、町民の手で植える町花チューリップを基本とした観光業など、道東観光の一翼を担う地域となっています。

町の特長を生かしながら、経済を

発展させ、かつ、人や環境にやさしい「人と自然が輝くオホーツクのまち」を目指し、自然と人が共存しながら「持続可能で活力がある地域」をつくっていききたいと考えています。

なぜ必要？何ができる？

世界の産業の発展・人口の増加に伴う気温・海面の上昇と気候変動により、地球・人類の存続が危ぶまれています。

湧別・北海道・日本・地球を次世代の人に引き継ぎ、より良い未来を築くために、私たちに「できること」を実践していくことが必要です。

ちょっとした意識で「今」この瞬間からできることがたくさんあります。「町」として、「企業や団体」として、私たち「一人ひとり」として、私たち「一人ひとり」として何ができるのかを考え実践していくことが大切です。小さなことでも一人ひとりが行うことで大きな成果につながります。ぜひ、できることを考えてみてください。

また、町が現在進めている「バイオガスプラント」もご紹介します。皆さんの力で湧別町からより良い未来を築いていきましょう。

始めよう！SDGs

SDGsを心掛けると、 世界中の人が幸せに

例えば

- 小まめに電気を消す
- 無駄なアイドリングを無くすと…



①温室効果ガスの排出を削減し、地球
温暖化を抑制。エネルギー消費量も削減。



②自然環境が守られ、
海や陸の生き物の命も保護。



③海や陸の恵みを受け、豊富な食料を確保。



④十分な栄養を取れることにより、
みんなが健康に。

数珠つなぎで良い効果が
どんどん生まれていきます

SDGsの17の目標



～一人の小さな活動が大きな力に～

私たちが今すぐに始められること

日頃から

- 食べ残しをしない
- 食材は食べきれぬ分だけ買う
- 節電節水
- マイボトルを持ち歩く
- マイバッグを活用する
- 地元の店で、地元の食材を買う
- 自転車通勤
- アイドリングストップ
- クールビズ・ウォームビズ など

食物、電気、水など限られた資源を大切にすることは多くの自然環境の保護につながります。また、マイボトルやマイバッグを持ち歩くことで新たな資源を作るための資材やエネルギーの削減、ごみの削減にもつながります。

地元の店・地元の食材、自転車通勤やアイドリングストップは輸送エネルギーの削減につながりますし、クールビズ・ウォームビズに取り組むことで冷暖房に要するエネルギーの削減につながります。

身近な活動に参加

- エコボランティア（ごみ拾い）への協力
- 一斉清掃に参加
- 清掃イベントに参加



当たり前に見かけるポイ捨てごみ。そのまま放置すると、河川や水路を通じて海に流出し生態系に甚大なダメージを与え、資源消費にも影響があります。SDGs目標達成に悪影響を及ぼすとても身近で世界規模の問題にかかわるテーマです。

ポイ捨てごみを拾うことは、いつでも、どこでも、一人でも始められる、最も簡単なSDGs貢献です。「ポイ捨て」、「不法投棄」をする人が減るようにしていくことはもちろんですが、ごみを極力出さないように**考えて生活すること**もとても大切なことです。